

クルマエビの産卵後に発生する粘液様物質の性状と採卵に及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 照屋, 和久, 大角, 伸一, 清水, 健, 有元, 操
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014502

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



クルマエビの産卵後に発生する粘液様物質の性状と採卵に及ぼす影響

照屋和久・大角伸一・清水 健・有元 操

クルマエビの産卵水槽内で認められる粘液様物質は、通気条件下でのみ発生し、未受精卵が物理的刺激で崩壊されたものであると判断された。また、100 l の産卵水槽で通気量の影響を検討した結果、0.1 l / 分の通気条件下では、この粘液様物質は認められなかった。親エビの産卵可能な第3卵黄球期以上の卵巣卵数を推定し、完全産卵個体の採卵数と比較した結果、卵巣卵数と採卵数には大きな差があり、クルマエビの産卵では、多くの未受精卵が崩壊し実際の産卵数よりも過小評価している可能性が示唆された。

栽培技研, 28(1), 7-11, 2000